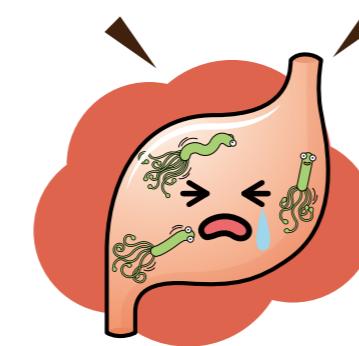




ピロリ菌検査を受けて 胃がんを予防しましょう!!



ピロリ菌とは?

ピロリ菌の正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ菌」といい、胃の粘膜に定着する菌です。感染すると何十年という間、胃の粘膜の中に生息し続けます。

ピロリ菌に感染するのは、主に免疫機能が不完全な乳幼児期です。感染経路は確立されていませんが、戦後は不衛生な生水（井戸水）が主な感染源と言われていました。現在は衛生環境が改善され、ピロリ菌感染率は低くなっていますが、ピロリ菌に感染した大人から子どもへの食べ物を「口移し」で与えることでも感染すると言われています。

ピロリ菌と胃がんの関係とは?

ピロリ菌に感染するとどうなるの?

ピロリ菌に感染しただけでは、特に自覚症状を感じることはありません。しかし、感染したまま放置してしまうと、ピロリ菌は胃の粘膜を傷つけて慢性胃炎を起こします。この慢性胃炎が長期間続くと、胃液や胃酸を分泌する組織が減少し、胃の粘膜自体が痩せてしまいます。この状態を「萎縮性胃炎」といい、消化不良や胃もたれ、食欲不振等の症状が現れます。さらに症状が進むと、胃の粘膜が腸の粘膜のようになる「腸上皮化生」という現象を起こすことがあります。上記のように胃の萎縮が進むと胃がんリスクは更に高まると言われています。

ピロリ菌に感染している人は胃がん発生率が高い!

毎年12万人以上の方が胃がんになり、約4万人以上の方が亡くなっています。胃がんの約9割はピロリ菌感染が由来と言われています。「ヘリコバクター・ピロリ菌と胃がん罹患との関係」の研究では、ピロリ菌感染者の胃がんリスクは、感染していない人の約5倍という結果も出ています。



ピロリ菌を早い時期に除菌できれば、将来の胃がん予防になり、次世代への感染を予防することに繋がります。

健康な胃を保つために、ピロリ菌検査で感染の有無を確認し、感染している場合は除菌をしましょう。

小清水赤十字病院での各種検診について

近年、悪性新生物（がん）は、日本人の死因の第1位となっています。

がんを防ぐためには、がん検診は欠かすことのできないものであり、検診で早期のうちにがんが見つかれば、適切な治療で命を守ることができます。

本町では、年2回の集団検診以外にも、より身近にがん検診が受けられるよう町の基幹病院である小清水赤十字病院において、各種検診を実施していますので、この機会にぜひ受診ください。



検診内容

胃ピロリ菌検査

検診対象：20歳以上の町民
検査方法：血液検査
検診料金：500円

肺がんCT検診

検診対象：30歳以上の町民
検査方法：胸部CT撮影及び内臓脂肪測定
検診料金：1,600円

骨粗鬆症検診

検診対象：20～69歳の町民（女性のみ）
検査方法：腰椎と大腿骨の骨密度測定
検診料金：700円

●検診日程 令和3年12月28日まで

※予約受付は12月21日までとなります。

●検診場所 小清水赤十字病院

●申込先 胃ピロリ菌検査
骨粗鬆症検診）：小清水赤十字病院
☎ (0152) 62-2121

肺がんCT検診：小清水町役場 保健福祉課 健康推進係
☎ (0152) 62-4480

※各種検診の詳しい内容については、役場 保健福祉課 健康推進係までお問い合わせください。